

感想（気持ち）を書くのは難しい。しかし、俯瞰的に心理を観察するのなら書ける。			
教案番号	03	対象	小学校高学年（ヒントなしで考えさせれば中学生まで可）
分野	心理	タイトル	おみくじ
時間	3人で30分前後 6人で40分前後		
指導概要	①おみくじを読んだ人が納得している理由を文の内容から探る。 ②読み手の心理でどちらにも取れるような文、証明不能な文であることに気づく。 ③上記を基に、おみくじや占いとの向き合い方について文にまとめる。 ＊本題材は放送大学「錯覚の心理学」を参考に作成した。		

【1】授業の流れ

具体的活動内容	教材・教具
1. 課題把握 ①本文[1]を読み、おみくじや占いをしたことがあるか話し合う。 ②本文[2]を読み、問題を把握する。 いろいろな意見が出ると思うが、ここは自由に発言させる。	おみくじや占いの実物 プリント①
2. おみくじ文の分析 ①性格が反対の二人の読み手は、どうしてそれぞれが自分の性格と合っていると思ったのか。 ②誰かが陰で支えてきてくれたという文に、なぜ反論・異論を唱えなかったのか。 ③ラッキーカラーの赤を見て元気になったのはなぜか。	プリント②
3. 意見文を書く おみくじや占いとの付き合い方について自分の考えを書く。 ①自分の立場を選ぶ。 ア) 全部肯定 イ) 部分肯定 ウ) 全部否定 ②書き方の構成条件に従って自分の意見を書く。 始：「おみくじや占いの文は」で始め、特徴について手短かに書く。 中：「たとえば」で始め、本文を例にその特徴について解説する。 終：「だから」や「でも」で始め、自分はどれらとどう付き合うかを書く。 ・「でも」で書き始めた場合、「～なので」という理由も付す。	プリント③
4. 意見発表 ①自分の文を発表する。 ②付き合い方の違いに注目して他者の発表を聞く。 ③他者の発表した内容に疑問を抱いた場合は質問する→答える。	プリント③
5. 講評 ①溢れる情報（文）の中には、曖昧な文や反証できない内容などが含まれた文があるので注意をする。 ②上記を納得したうえで、心に余裕（あそび）を持って向き合う。	全答案を回収し、次回までに赤ペンを入れて個別に講評をする。

【2】次ページより教材例を提示（子ども用に続き、指導者用を掲載）

- 1 花子さんが買ったおみくじには、次のように書いてありました。

あなたは基本的に明るい性格ですが、それがうまく出せることもあれば、出せないこともあります。でも、気にしないで自分らしく生きましょう。

今まであなたは、ある人から大きな助けを受けてきました。あなたはそれに気づいていません。これからも気づかないまま生きていくかもしれませんが、だれかのおかげだという気持ちを忘れずに生きていきましょう。

あなたの今日のラッキーカラーは赤です。赤い色はきっとあなたを元気づけてくれるでしょう。

花子さんはこれを読んで、当たっていると思いました。

そして、信号が赤になったのを見て、わくわくしました。そこに、片思いをしていた太郎君が来て、同じように赤信号で止まりました。



花子さんは太郎君におみくじの話をする、太郎君もおみくじを買っていたことが分かりました。二人とも元気が出たと言っています。そこで、おみくじを見せ合うことにしました。すると、何と二人とも全く同じ文ではありませんか。二人の性格はどう見ても違います。太郎君は元気者ですが、花子さんはひかえめな子です。

② おみくじの文^{ぶんせき}を分析しましょう。

① 「あなたは基本的に明るい性格ですが、それがうまく出せることもあれば、出せないこともあります。」という文を読んで、なぜ花子さんは自分のことだと思ったのでしょうか。この文の書き方に何かひみつはないでしょうか。

②「今まであなたは、ある人から大きな助けを受けてきました。あなたはそれに気づいていません。」という文を読んで、二人とも「そうかな？」と思ったそうです。でも、反論せず信じたのはなぜでしょう。

③赤信号を見て元気になったのですから、おみくじは当たっているのではないですか。

③ おみくじや^{うらな}占いの利用の仕方について、あなたの考えを書きましょう。

まず、自分の立場を決めましょう。

ア) すべて^{ひてい}否定する。

イ) 部分的に^{こうてい}肯定する。

ウ) すべて肯定する。

文の構成は、次のようにしましょう。

①まず、おみくじや占いの文の^{とくちょう}特徴について書きましょう。

②次に、「たとえば」で始め、本文を^{れい}例にその特徴を証明しましょう。

③最後に自分としての付き合い方・利用の仕方を書きましょう。

ただし、おみくじや占いのすべてを否定する人は「だから」で文を始めましょう。

部分肯定の人と全部肯定の人は。「でも」で文を始め、受け入れる理由も書きましょう。

1 花子さんが買ったおみくじには、次のように書いてありました。

あなたは基本的に明るい性格ですが、それがうまく出せることもあれば、出せないこともあります。でも、気にしないで自分らしく生きましょう。

今まであなたは、ある人から大きな助けを受けてきました。あなたはそれに気づいていません。これからも気づかないまま生きていくかもしれませんが、だれかのおかげだという気持ちを忘れずに生きていきましょう。

あなたの今日のラッキーカラーは赤です。赤い色はきっとあなたを元気づけてくれるでしょう。

花子さんはこれを読んで、当たっていると思いました。

そして、信号が赤になったのを見て、わくわくしました。そこに、片思いをしていた太郎君が来て、同じように赤信号で止まりました。



花子さんは太郎君におみくじの話をする、太郎君もおみくじを買っていたことが分かりました。二人とも元気が出たと言っています。そこで、おみくじを見せ合うことにしました。すると、何と二人とも全く同じ文ではありませんか。二人の性格はどう見ても違います。太郎君は元気者ですが、花子さんはひかえめな子です。

② おみくじの文^{ぶんせき}を分析しましょう。

① 「あなたは基本的に明るい性格ですが、それがうまく出せることもあれば、出せないこともあります。」という文を読んで、なぜ花子さんは自分のことだと思ったのでしょうか。この文の書き方に何かひみつはないでしょうか。

基本的に明るいとか、明るさがうまく出せることもあれば、出せないこともあるという言い方は、ひかえめな性格でも当てはまる言い方だから。

②「今まであなたは、ある人から大きな助けを受けてきました。あなたはそれに気づいていません。」という文を読んで、二人とも「そうかな？」と思ったそうです。でも、反論せず信じたのはなぜでしょう。

気づいていないだけでだれかに助けられている可能性は否定できないから。

そんな人がいないという証明ができないから。

*小学生といえども、「可能性は否定できない」「証明できない。」という言い方を身につけておくと表現の幅が広がる。

③赤信号を見て元気になったのですから、おみくじは当たっているのではないですか。

信号はどこにでもあり、たまたま目に入っただけで、自分で勝手に思い込んだだけだ。

おみくじを信じてしまったので、偶然の出来事も信じてしまっただけだ。

③ おみくじや^{うらな}占いの利用の仕方について、あなたの考えを書きましょう。

まず、自分の立場を決めましょう。

ア) すべて^{ひてい}否定する。

イ) 部分的に^{こうてい}肯定する。

ウ) すべて肯定する。

文の構成は、次のようにしましょう。

①まず、おみくじや占いの文の^{とくちょう}特徴について書きましょう。

②次に、「たとえば」で始め、本文を^{れい}例にその特徴を証明しましょう。

③最後に自分としての付き合い方・利用の仕方を書きましょう。

ただし、おみくじや占いのすべてを否定する人は「だから」で文を始めましょう。

部分肯定の人と全部肯定の人は。「でも」で文を始め、受け入れる理由も書きましょう。

【回答例】

おみくじに書いてある内容はあいまいで、証明することができないので信じる人もいる。

たとえば、「あなたは基本的に明るい性格ですが、それがうまく出せることもあれば、出せないこともあります。」という文では、たいていの人かどちらかに当てはまるので、おみくじを引いた人の性格を言い当てことにはならない。

また、「今まであなたは、ある人から大きな助けを受けてきました。」と言われても、だれもがだれかの助けを受けており、それを否定することは難しい。

①全否定派：だから、私はおみくじや占いの文は絶対に信じていない。それによって喜んだりがっかりしたりするのは、おだだと思う。

②部分肯定派：でも、おみくじや占いの文を読んで、自分の行動に気をつけたり人に感謝をしたりするきっかけになるなど、役に立つ面もあり、全部は否定しない。

③全肯定派：でも、自分が信じてその通り行動すれば、心の支えになるし元気がもらえるので、私は信じたい。